

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	宮沢 吉浩
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		246-9000	
事務事業名		4142 ごみ処理施設運営事業										
所 属		140100 環境部・生活環境課										
施 策		03011200 循環型社会の形成										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費										
	事業	030000 ごみ処理施設運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。						清掃センターに搬入された可燃ごみの焼却、不燃ごみの破砕等の適正処理を行う。 ごみ処理に際し有害物質の発生を抑制し、自然環境の保全を図る。 搬入された廃棄物から再利用可能な資源物を分別し、リサイクルを行うことにより、循環型社会の形成が促進される。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。	ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。	ごみ処理施設の運転及び適正な維持管理が行えた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
ごみ処理施設の安全で安定した運転及び、丁寧な各種操作や分別指導を行い、施設を大切に使うよう徹底することができた。また、焼却施設における、煙道排ガス分析装置を更新し、適正な燃焼管理が図れた。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。					
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		207,108	212,308
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	164,290	136,621
一般財源		42,818	75,687
人員数 (人)	正規職員	7.2	3.2
	嘱託職員	5.1	9.1
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	49,377.6	21,945.6
	嘱託職員	13,897.5	24,797.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	63,275.1	46,743.1
市民一人当たりの経費		5.2	5.0
総額		270,383.1	259,051.1

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	144,231	消耗品費18,474、燃料費4,801、電気料33,388、修繕料87,568
13節 委託費	45,530	機器点検委託料1,069、ばいじん量等測定委託料1,836、焼却灰等処分委託料37,952、使用済み乾電池運搬処理委託料983外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,347	土地借上料5,163、機器賃借料2,162、備品購入費9,450外

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	151,610	消耗品費18,759、燃料費5,236、電気料32,615、修繕料95,000
13節 委託費	54,636	機器点検委託料2,700、ばいじん量等測定委託料2,429、焼却灰等処分委託料44,479、使用済み乾電池運搬処理委託料1,266外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,062	土地借上料5,163外

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評 価 コメント	施設の老朽化が進む中、安全かつ安定したごみ処理を行うため、分別破袋作業による危険物の除去や、小型家電等の資源化を実施し、ごみの適正処理が図れた。	
有 効 性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評 価 コメント	毎月、安全会議を開催するなど、事故の無い安全な作業管理の徹底に努めた。	
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評 価 コメント	老朽化した施設において、継続してごみの適正処理を行うため、必要な修繕を実施し、限られた人員の中で、工夫しながら事業の運営に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設の保全に努め、可燃ごみ、不燃ごみの適正な処理を行った。また、焼却施設における、煙道排ガス分析装置を更新することにより適正な燃焼管理が図れた。今後についても、長野広域移行を見据えた施設整備等が必要となる。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
施設における維持管理基準を遵守し、公害発生の防止に努めることは勿論、長野広域ごみ処理計画の新施設稼働の目標年次である平成30年度内まで継続した稼働を可能とすべく基幹的設備の整備も行い安定稼働を図ることができた。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
衛生的な市民生活を維持するためには必要不可欠な事業。長野広域連合による広域ごみ処理移行まで、安定した施設稼働を継続する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	